

2021 年 9 月 22 日

株 式 会 社 コ ン カ ー

東日本旅客鉄道株式会社

Suica の利用履歴を活用した旅費精算の効率性向上に向け、 コンカーのユーザー企業を対象とした有償サービスを提供開始

株式会社コンカー（本社：東京都中央区、代表取締役社長：三村 真宗、以下 コンカー）と、東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：深澤 祐二、以下 JR 東日本）は、JR 東日本が提供する Suica の利用履歴データを活用し、コンカーのユーザー企業様を対象にした旅費精算の有償サービスの提供を開始します。

1. サービス概要

鉄道やバスを Suica でご利用いただくと、最短で乗車翌日には Suica の利用履歴データが「Concur Expense」※¹ に自動で連携されます。これにより、「Concur Expense」を使う企業様が旅費精算を行う際、入力業務負荷の削減、承認者や経理部門によるチェックの負担が大幅に軽減します。また、タクシーなどを利用した際の Suica 利用履歴データを「デジタル明細」として利用できるため、領収書やレシートの受領が不要になり、立替経費精算において紙を削減することが可能になります。

※¹ 「Concur Expense」について

Concur Expense は導入企業数約 46,000 社を誇る業界標準の経費精算・管理クラウドです。交通系 IC カードや各種法人カード、QR コード決済アプリなど多様なサービスとのデータ連携で、経費入力業務を省力化。また、電子帳簿保存法に対応しており、経費精算業務におけるペーパーレス化を実現します。

(1) サービス開始時期

2021 年 10 月以降準備が整い次第、順次提供開始

(2) サービスの対象となる Suica

My Suica（記名式）（一部対象外あり）、モバイル Suica

(3) 連携の対象となるデータ

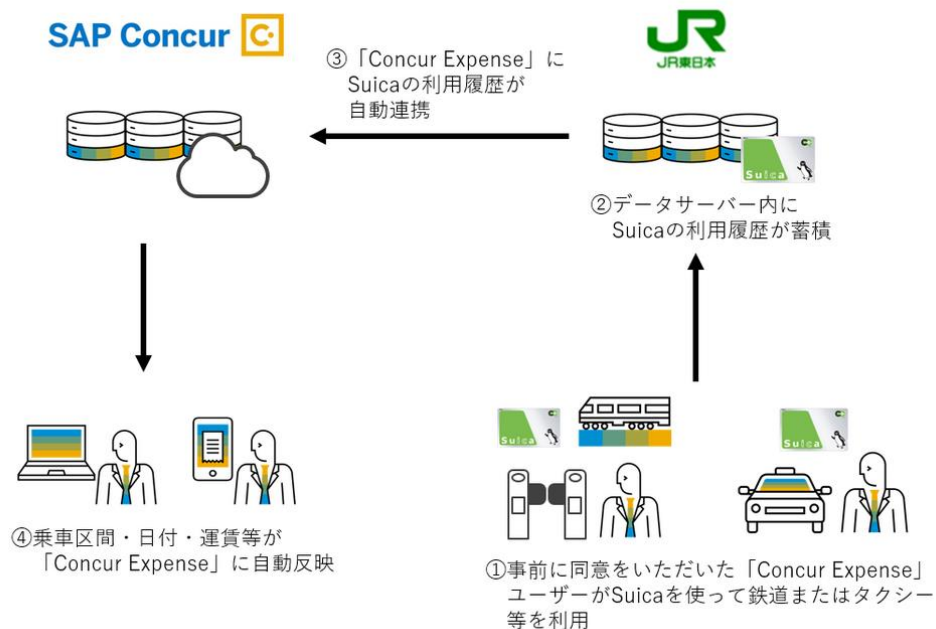
Suica で利用した鉄道、バス、タクシーなどの利用履歴
（定期券区間の乗車履歴、その他物販履歴を除く）

(4) 対象となるお客様

2021 年 10 月以降に新たに Concur Expense をご利用いただくお客様

※すでに Concur Expense をご利用いただいているお客様については、2022 年にご提供開始予定

<Suica データサーバーと「Concur Expense」連携イメージ>



※本機能は、Concur Expense のオプションサービスです。ご利用の際は、事前同意をいただいた上で本サービスへ Suica の登録が必要となります。

「Suica」および「モバイル Suica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

2. 背景

昨年から続く新型コロナウイルス感染症により働き方が大きく変化し、日本でもテレワークが広く浸透しました。オフィスへの出勤日数が減ったことから、通勤交通費を実費精算に切り替える企業が増えています。このような動向から、通勤交通費における正確性の向上、業務負荷軽減へのニーズが高まっています。

2019 年 8 月よりコンカーのユーザー企業様を対象に実証実験を開始しましたが、このたび、Suica の利用履歴データを、コンカーの経費精算・管理クラウド「Concur Expense」と連携し、有償オプションサービスとして、コンカーのユーザー企業様に向けて提供します。

参考

■株式会社コンカーについて

世界最大の出張・経費管理クラウド SAP Concur^{※2} の日本法人で、2010 年 10 月に設立されました。『Concur Expense（経費精算・経費管理）』・『Concur Travel（出張管理）』・『Concur Invoice（請求書管理）』を中心に企業の間接費管理の高度化と従業員の働き方改革を支援するクラウドサービス群を提供しています。コンカーの詳細については www.concur.co.jp をご覧ください。

^{※2}SAP Concur について

SAP® Concur®は、出張、経費、請求書管理を統合したソリューションを提供する世界有数のブランドであり、これらのプロセスの簡素化と自動化を追求しています。高い評価を得ている SAP Concur のモバイルアプリは、社員の出張をサポートし、経費を自動で入力し、請求書の承認を自動化します。AI を使いリアルタイムのデータを統合、分析することで、効率的な支出管理を行うことが可能です。SAP Concur のソリューションは、手間の掛かる作業をなくし、お客様の業務効率化に貢献、最高の状態でビジネスを進めることができるようサポートします。詳細は concur.com または [SAP Concur ブログ](#) をご覧ください。

SAP、SAP ロゴ、記載されているすべての SAP 製品およびサービス名はドイツにある SAP SE やその他世界各国における登録商標または商標です。またその他記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。

■東日本旅客鉄道株式会社について

JR 東日本は、グループ経営ビジョン「変革 2027」において「ヒト（すべての人）の生活における『豊かさ』を起点とした社会への新たな価値の提供」を目指しております。移動のシームレス化と多様なサービスのワンストップ化により、お客さまが 24 時間、あらゆる生活シーンで最適な手段を組合せて移動・購入・決済などのサービスを利用できる環境を実現していきます。

■各社代表コメント

株式会社コンカー 代表取締役社長 三村真宗

「かねてより JR 東日本と共に進めてきた本サービスを提供開始することができました。Suica の利用履歴データを Concur Expense に自動連携することで、近隣交通費や少額の物品購入費といった項目の入力・チェック業務を削減、この時間をより付加価値のあるコア業務に充てることができます。今後も、ビジネスパーソンの利便性と生産性の向上、企業のガバナンス強化を目指す『ビジネスキャッシュレス構想』の下、パートナー企業様とのサービス連携を積極的に進めてまいります。」

東日本旅客鉄道株式会社 常務執行役員 MaaS・Suica 推進本部長 根本英紀

「非生産的業務と言われる交通費精算業務の効率化は、『働き方改革』の一端を担うと考えています。このたび、Suica の利用履歴データとコンカーの知見・システムが連携することによって、本サービスの提供に寄与することができました。当社はこれからも Suica を活用したサービスの充実を図り、すべての人の『心豊かな生活』の実現にむけて取り組んでまいります。」